

平成24年度

法勝寺電車廃線跡 調査ウォーク

今は無き法勝寺電車の電車軌道跡をたどって、電車がどんなところをどのようにして走っていたのか、地図を片手に、当時の痕跡を探しながら調査ウォークをします。

希望者はノルディック・ウォークを体験することもできます。(用具は準備します)

[講師]

岩佐武彦氏 (米子市歴史館運営委員)

小椋敬史氏

(全日本ノルデック・ウォーク連盟
鳥取県西部推進委員会指導員)

写真提供:高井薫平氏



平成 25 年 3 月 23 日 (土)

9:00 ~ 14:00

集合 8:50

終了予定

- ・ 少雨決行 (中止の場合は7:30に参加者へ連絡)
- ・ 飲み物・弁当・筆記用具持参
- ・ 歩きやすい服装で

集合場所: 元町パティオ (米子市元町サンロード)

募集人数: 20人程度

コース: 元町パティオ → 米子市駅跡 → 米子市尚徳公民館 → 大袋駅跡

★午前: 約2時間30分 (約5km) (昼食)

午後: 約1時間 (1.5km) の徒歩コースです。

帰路: マイクロバス乗車 → 米子市立山陰歴史館 (14:30 解散予定)

★経験・知識は問いませんが長時間歩きますので、健康に不安のある方のご参加はご遠慮ください。(全行程参加できる方を対象とします)

申込方法: 米子市立山陰歴史館へ 電話又来館受付のみ

☎ 0859 - 22 - 7161 火曜日休館

申込〆切 平成25年3月17日 (日)

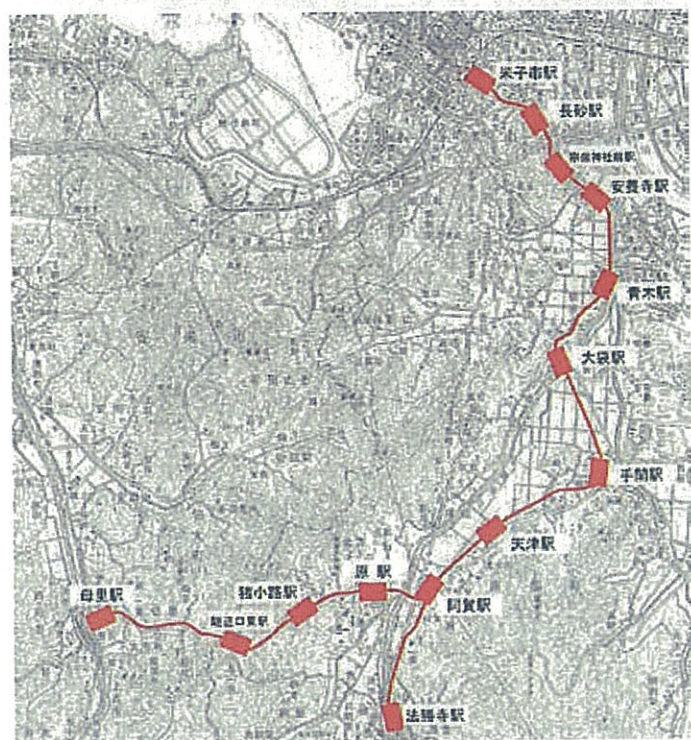
申込先着順・定員になり次第〆切

参加費 100円 (保険代ほか 当日集金)



修復の終わったフ50 法勝寺電車（鳥取県保護文化財 / 元町パティオ）

写真提供：米子市教育委員会



大正 13(1924) 年に、米子と南部地域（会見・西伯）を結ぶ法勝寺鉄道（以下、法勝寺電車と呼ぶ）が開業しました。

昭和 42(1967) 年に惜しまれつつ廃止されるまで、約半世紀にわたって、「チンチン電車」の愛称で親しまれてきました。

廃線後の線路跡は、いつしか道となって人々の記憶からは消えていきましたが、今、米子市と南部町に残されている電車車両の鳥取県保護文化財指定をきっかけに、近代化遺産としての文化的価値が見直されようとしています。

【路線図】 伯陽電鉄道株式会社

『伯陽電鉄遊覧 電車ご案内』を参照して作成

お車でお越しの方は米子市役所駐車場をご利用ください。駐車券は集合場所でお預かりします。

